

第3回 南大阪便教会 活動報告

第3回南大阪便教会を開催させて頂きました。5名の方に参加させて頂きました。参加して下さった皆様、ありがとうございました。遠方より駆けつけてくださり、心より感謝申し上げます。

【徹底して床を磨く】

第1回、第2回とトイレの床面に集中して掃除をしました。今回は、第2回での活動の続きとして、女子トイレの未だに黒ずんでいる部分を磨きました。水を含ませたスコッチブライトで床を磨くのですが、参加者のお一人が「クエン酸とカネヨンを混ぜた液体を撒くと、汚れが落ちる効果が高くなる」ということを教えてくださりました。そうすることで、必要以上に力を入れなくても、十分に汚れが落ちる。ちょっとした工夫をすることで、大きく変わる。いかに創意工夫が重要かを学ばせて頂きました。

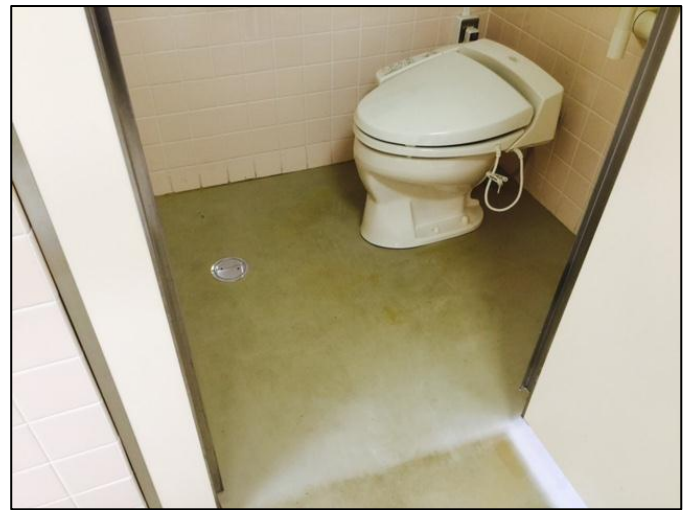
掃除をスタートした時には、個室の部分の床が汚れていました。しかし、スコッチブライトで磨き続けると、少しずつ白くなっていきました。最終的には、その個室の部分が白く、他の部分が汚れているように見えるほどになりました。ただひたすらに床を磨く。暑いなか、汗を流しながら取り組んだ結果、素晴らしく輝く床に変わりました。



(掃除を始める前のトイレの様子)



(掃除中の様子)



(掃除後の様子)

今日磨いた部分と、そうでない部分との差は明らかです。徹底して床を磨くとここまで白く輝くのかと、驚くほどです。仕上げにワックスがけをしました。さらにピカピカと輝くようになりました。

掃除をする前と後では、この場の空気感も全く違います。どこか重たい空気だったトイレに、今は爽やかな空気が流れています。そして、きっと子どもたちも、この変化に何かを感じてくれると思います。

【動いていない自分自身】

第3回南大阪便教会を開催させて頂きました。しかし、何も動いていない自分があることがわかりました。昨年より、便教会を開かせて頂いていますが、それは、流れに乗っているだけだったに過ぎません。奈良や東大阪、神戸、京都など各地で便教会を開催される先生方のお姿を見て、「よし！自分もやるぞ！」と立ち上げたものの、その後、全く何も考えていなかったということがわかりました。どのように運営していくか。どのように周りの先生を誘い、巻き込んでいくか。これまで参加したことが無い先生に、便器と向き合い自分を磨くトイレ掃除にどうやって参加してもらおうか。そういった部分での考えが全く足りていないのです。便教会を開催しているというだけで、それ以上のことを良くしようとする思考が停止しているのです。まさに、立ちどまっている。そんな状態ではいけないのだと痛感しました。

まずは自分が変わらねばという想いで便教会に参加させて頂くようになり、さらに自分の勤務校で便教会を開かせて頂くようになりました。しかし、今日、自分の足取りが重くなっていること。さらに考えが止まってしまっていること。今日の振り返りで、たくさんのことを気づかせて頂きました。以前、講話で杏中保夫先生は「教育に命を懸けているか」という問いかけをしておられました。今の自分は、まったくその意気込みが無いのだと感じました。止まっているようではいけないのです。まだまだ甘すぎるのです。

私は足りないことだらけではありますが、皆様からいつも貴重なことを学ばせて頂いております。日々、学ぶことばかりです。今回も、皆様ありがとうございました。

考えながら動くこと。また、動きながら考えること。立ち止まることなく、このことを日ごろから心がけて、自分の姿を振り返りながら、第4回を迎えられるように過ごして参りたいです。ありがとうございました。